

令和 8 年度第 1 回（令和 8 年 7 月 2 1 日）臨時庁議提案

□審議 ☒報告 □その他

担当部・課：教育委員会学校教育課〔内線 5 0 2 8〕

1 件名

物価高騰への対応に伴うオンライン学習システム導入による教育費負担軽減事業の実施について

2 施策等を必要とする背景及び目的（理由）**【背景】**

エネルギー・食料品価格等の物価高騰が長期化し、国民生活等に大きな影響を及ぼしている中、国の令和 8 年度補正予算が成立し、全国の自治体に物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が追加配分された。

物価高騰による生活費の増加が学習塾費用や家庭用教材費等の教育費を圧迫するなど、家庭の経済状況により、学校以外の学習機会が縮小し、学力格差の拡大につながるものが懸念されている。

また、本市では、これまで、市内の小・中学校の児童生徒の学力向上のため、学力調査や授業改善などの施策を継続して実施してきたものの、全国学力・学習状況調査において全国平均を下回る状況が続いている。

【目的】

同交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援として、オンライン学習システム導入による教育費負担軽減事業を実施するもの。

3 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性**【根拠法令：☑有 □無】**

教育基本法（平成 1 8 年法律第 1 2 0 号）

【総合計画の位置付け：☑有 □無】

第 5 章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち

第 2 節 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実

【個別計画の位置付け：☑有 □無】

石巻市学力向上プラン（第Ⅱ期）：令和 7 年度～令和 9 年度

4 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）

令和 8 年 6 月 第 2 2 1 回国会において令和 8 年度補正予算成立
関係部課協議

7 月 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画裁定
令和 8 年度補正予算裁定

5 主な内容

家庭における学習や授業の復習等を支援する学習支援アプリを市が貸与している学習用タブレット端末に導入する。

《対 象》 小学 1 年生から中学 3 年生までの市内全児童生徒

《契約形態》 令和 8 年度末までのライセンス利用契約

6 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）**【影響・効果】**

相次ぐ物価高騰により増加する家庭用教材費等の教育関連支出に係る保護者の経済的負担を直接的に軽減するとともに、家庭の経済状況に左右されることなく、全ての児童生徒が継続して学習に取り組める環境を確保し、学習機会の縮小や学力格差の拡大を防ぐ。

また、児童生徒に貸与しているタブレット端末を活用したオンライン学習システムにより、一人ひとりの理解度に応じた学習を支援し、継続的な学習への意欲の維持・向上につなげる。

【市財政への負担】

令和8年度予算額

オンライン学習アプリ利用料 18,850千円

(財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(国) 17,908千円

一般財源 942千円

7 他の自治体の政策との比較検討

同交付金を活用した教育費負担軽減にかかる取組

自治体	対象	支援内容	実施年度
兵庫県赤穂市	小学生	タブレット端末での学習に使用するソフトウェア(ドリル)の購入費用を負担する。	令和6年度
東京都東久留米市	中学2・3年生	TOKYO GLOBAL GATEWAY(体験型英語学習施設)での英語対話体験に係る利用料金を補助する。	令和7年度
宮崎県宮崎市	中学生	民間塾等がないまたは少ない地域に、放課後の学びの場を整備・提供する。	令和8年度

8 今後の予定及び施行予定年月日

令和8年7月 市議会第3回臨時会に係る補正予算案について提案

9月 オンライン学習アプリの導入

9 その他